

**7/27 成羽川河川敷（成羽町下原）**  
**夜空に咲く大輪の花**

約300年前の宝永年間から続く「備中名物成羽愛宕大花火」（同実行委員会主催）が開催され、多くの観客でにぎわいました。市民の手作りによる全12景の仕掛け花火では、スサノオノミコトや新島八重、キャラクターなどさまざまな情景が勇壮華麗に描き出されました。



大迫力の名物【大銀滝】



備中神楽と花火の共演



街なかから見た打ち上げ花火



屋台が立ち並び賑わう街なか



市民による手作り仕掛け花火



成羽川に映し出された幻想的な花火

▼レジ袋が全国で1年間に何枚消費されるか知っていますか？環境省によると、約300億枚（1人1日約1枚）。単価が約2円なので、約600億円が消費されている計算です。市の燃えるごみにも、かなりの量のレジ袋が混入して焼却されているそうです。きちんと分別すれば、プラスチックとしてリサイクルされます。2円の現金と考えたら、燃えるごみとして簡単に捨てられないですね。（KH）

▼5月号から連載しているスクラム作戦通信。発達障害児のことをもっと多くの人に知って理解してもらいたいという願いが込められています。発達障害の人にとって、自分のよさや困難さを理解してくれる人たちが身近にいることは、とても心強いことだと思います。この通信が、私たちにできることを考える一つのきっかけになればと思っています。（KY）

▼毎年、成羽愛宕大花火を見に行っています。1発目が打ち上げられ、「今年もいよいよ始まった！」と思うと、胸が高鳴りました。この花火大会を成功させるために、たくさんの方が汗を流し情熱を注いだことを思うと、どの花火もとても力強く美しく見えました。歴史ある奉納花火が、これからはずっと先世代まで続いてほしいと思います。（AO）



**編集後記**



**7/22～ 市内各地域**  
**ファンへの感謝と誓い**



会場で行われた応援エール（7/29有漢地域センター）

「FC吉備国際大学シャルム報告会」（シャルムを応援する市民の「有志の会」主催）が市内各地域で開催され、多くの市民と太田監督や選手らが参加しました。これまでのチームの歩みや戦いぶりなど映像を交えながら報告し、2017年のリーグ制覇や日本代表選手を輩出する目標と「スポーツで高梁を日本一元気なまちにしたい」と抱負を語りました。

**8/3 文化交流館**  
**夏休みを親子で楽しむ！**



高梁高校家政科の生徒によるわくわくおはなし会

「遊ぼう学ぼう！子どもと親の学習フェスタ」（同実行委員会主催）が開催され、多くの家族連れでにぎわいました。国立病院機構仙台医療センター小児科の田澤雄作さんがゲームなど非現実的映像の子どもへの影響を講演。会場内では、さまざまなあそび体験・学びコーナーがあり、親子が楽しい時間を過ごしていました。

**7/12 成羽病院**  
**心も体も気持ちよくなるひととき**



会話を楽しみながら心もケアする生徒たち

成羽病院が高梁日新高校の協力を得て、ストレス緩和や美容などに役立ててもらおうと、入院・外来患者や市民ら約50人にハンドマッサージとネイルケアのサービスを行いました。美容師やエステティシャンを目指している同校ビューティー科3年生24人が訪問。生徒たちは、会話も楽しみながらサービスを行い、患者らは満足の表情を浮かべていました。

**7/12 高梁高校**  
**天体望遠鏡で夜空を探検**



復活した天体望遠鏡をのぞく参加者

「夏の星空ウォッチング」（たかはし広がる子どもの夢事業実行委員会主催）が開催され、市内の17家族が天体望遠鏡で星空を眺めました。望遠鏡は1951年、地元有志が高梁高校に設置したもので、長年使われていみせんでしたが、同校の天文部員が4年がかりで修復しました。今後は地域住民らを招いた天体観測会などで活用していく予定です。